



2002年06月14日

マイクロバスをハノーバー工場で生産を決定

ハノーバー・シュテッケン工場における1,500名の新規雇用創出

“5000×5000”雇用モデルの完成

フォルクスワーゲン商用車ブランド、ハノーバー、2002年6月11日発

各国で熱狂的に受け入れられたスタディ モデル マイクロバスがフォルクスワーゲン商用車部門の主力工場であるハノーバーで生産されることになりました。経営陣と事業所委員会は、何千人もの従業員が見守る中、本日、ニューモデルの生産契約書にサインを取り交わしました。フォルクスワーゲンAG取締役会会長Dr. ベルント ピシェツリーダーはハノーバー・シュテッケン工場で次のように述べています。「グループ内でマイクロバスを生産するための経済的要件を検討した結果、我々は、“5000×5000”雇用モデルおよびハノーバー工場の徹底的な再構築により、マイクロバスの生産条件が整う、という結論に達しました。」

フォルクスワーゲン商用車ブランド取締役会スポークスマン ベルント ヴィーデマンは、「今日はハノーバーにとって素晴らしい日となりました。フォルクスワーゲンの商用車ブランドは新しい時代を迎えたのです。」と述べています。

この決定は、フォルクスワーゲンAGが、5,000名の従業員を月額5,000ドイツマルク(2,556ユーロ)で雇用する“5000×5000”雇用モデルの成果の一部であり、ハノーバー工場における1,500名の新規雇用創出をも意味しています。既に昨年、この雇用モデルにより、フォルクスワーゲン本社のあるウォルフスブルグ工場で新しいミニバンを生産するために、3,500名の新規雇用を決定しています。

フォルクスワーゲン商用車ブランド事業所委員会会長であるギンター レンツは、次のように述べています。「フォルクスワーゲン商用車のチームは、この車の生産をハノーバーで実現するために驚くべき奮闘を致しました。我々全ての努力が報われました。この決定は、ハノーバー工場が世界中にあるフォルクスワーゲン生産拠点と肩を並べられることを示しています。」

マイクロバス生産の決定によって、フォルクスワーゲンは新しいセグメントにおけるビジョンを示しています。それは、印象的なデザインとリムジンの快適さ、そして高い機能性を兼ね備えたマルチ パーパス ビークル(MPV)です。フォルクスワーゲンAG会長Dr. ピシェツリーダーは「最初のフォルクスワーゲン バスが生産ラインから送り出された約50年前に伝説が始まりました。今回のマイクロバスによって、その伝説が今ハノーバーに戻ろうとしています。フォルクスワーゲン バスは単なる移動の手段ではなく、それは常に感性に訴えかける個性溢れるクルマでした。マイクロバスを展示した各国のモーターショーを訪れたお客様からの反応、マーケット調査の結果、そしてそのデザインが放つ自然な魅力は、その前モデルと同様の成功の軌跡を辿るであろうことを既に示しています。」と述べています。

カリフォルニアのフォルクスワーゲン デザイン スタジオでデザインされたマイクロバスのスタディは、2001年のデトロイトショーでデビュー。その後、東京、ジュネーブ、フランクフルトの各モーターショーで熱狂的に受け入れられました。(生産開始及び発売スケジュールは現時点では未定となっております。)

広報写真は、フォルクスワーゲン商用車のプレスサイト www.volkswagen-commercial.de にアップされていますので、ご活用下さい。(ユーザーネーム: vwpr-63 パスワード: wet289)